

# マンガ「片町夜曲」 # 1 1 原作 シナリオ

山崎浩治

## マンガ「片町夜曲」 # 1 1 原作シナリオ

---

### # 1 「スナック香澄」店内

アヤカのM「恋多き女的美鈴さんが同棲を始めたみたいです！」

ご機嫌な様子で喋っている美鈴。

店内にはアヤカや香澄ママ、吉岡などがいる。

美鈴「(アヤカに)ヤマト君はニートなのよ。いつも部屋でゴロゴロしてるんだけど、あたしがお店終わって帰るとうれしそうに迎えてくれるんだ。今度、彼におうち買ってあげようかな。ログハウス風のマイホーム」

アヤカ「美鈴さん、太っ腹！」

美鈴「(スマホをアヤカに見せる)これがヤマト君……」

スマホに表示された犬の画像。

アヤカ「(ズッコケて)犬じゃないですか！」

吉岡「(アヤカに)同僚のキャバ嬢が海外旅行してる間、預かってるんだってさ」

香澄ママ「妻子持ちの彼氏と別れた直後だからワンちゃんに癒やされてるのよ」

美鈴「(端末に頬ずりして)ヤマト君、カワイイ！」

アヤカのM「そんな美鈴さんが恋に落ちました」

### # 2 「居酒屋まわりみち」店内

若い女性客がひしめいている。

カウンター内には作務衣姿の末吉マスターとアヤカがいる。

末吉マスター「(アヤカに)最近、女性客増えとらんか？」

女性客に混じって私服姿の美鈴もいる。

末吉マスター「(気付いて)美鈴ちゃんまで……今日は日曜日で店休みやろ」

美鈴「イケメンが来るって評判だから見に来たのよ」

その時、暖簾をくぐって客が入ってきた。

客を見つめる女性客たちの表情が一斉にうっとりする。

入ってきた客は――サトシ。

美鈴「なんでこんな店に、こんなイケメンが来るのよ！」

末吉マスター「こんな店で悪かったな」

美鈴、サトシを見つめる瞳がハートになっている。

サトシ「(美鈴の隣に座り)マスター、ポテサラとビールね」

末吉マスター「あいよ」

美鈴「(サトシに体を寄せ)あたし、美鈴。片町でお水やってるんだ」

アヤカのM「美鈴さんの必殺技、フェロモン攻撃早くも全快！ けどその攻撃は、サトシさんには……」

サトシ「(美鈴と端末でLINEのIDを交換して)僕はサトシ。よろしくね」

アヤカのM「効果あった！ 美鈴さん、強っ……」

#3 「居酒屋まわりみち」店内(別の日)

カウンター席で親しげに話す美鈴とサトシ。

アヤカのM「それから美鈴さんは毎週日曜日、まわりみちに通ってサトシさんと会うようになりました」

#4 「スナック香澄」店内(数週間後)

店内にアヤカ、香澄ママ、美鈴、あかりと陽平、吉岡、トオルなどがある。

美鈴「(あかりに)来週あたしの誕生日なんだ」

あかり「それはおめでとうございます」

二人を見つめているアヤカ。

アヤカのM「美鈴さんはあかりさんがサトシさんだっことに気付いていません。この秘密を知っているのは、あたしとまわりみちの末吉マスター、オネエ所長とトオルさんだけ」

美鈴「誕生パーティはお店でもやるんだけど、親しい人だけスナック香澄に集まってもらって2次会を開くのが毎年恒例なの。あかりちゃんもお店終わったら来てよ」

あかり「はい、喜んで！」

美鈴「そこのイケメンさんも来て」

トオル「(ニッコリ笑ってVサイン)」

#5 「居酒屋まわりみち」店内(別の日)

カウンター席に並んで飲んでいる美鈴とサトシ。

カウンター内ではアヤカと末吉マスターが働いている。

美鈴「スナック香澄であたしの誕生パーティの2次会やるの。サトシ君も来て」

アヤカのM「サトシさん、当然断るかと思ったら……」

サトシ「(あっさり)ああ、いいですよ」

アヤカのM「あかりさんもサトシさんも出席するなんて、一体どうするつもりですか！」

#6 LINE画面

アヤカのM「翌日、あかりさんからこんなメッセージが届きました」

「アヤカちゃん、お願い！」

#7 「スナック香澄」店内(別の日)

ろうそくが灯されたバースデー・ケーキ。

アヤカのM「そして美鈴さんの誕生日」

美鈴、ろうそくの火を消すと、店内の一同から「誕生日おめでとう！」の声。

店内にはアヤカ、香澄ママ、あかり、陽平、吉岡、末吉、トオルの顔が見える。

末吉マスター「(美鈴に挨拶して)店を早じまいして来たよ」

オネエ所長「(お水のドレス姿で登場し、美鈴に)キャバ嬢のエンジェルよ！ トオルちゃんの同伴で来たの。お誕生日おめでと！」

美鈴「(のけぞって)エンジェルというより、悪魔でしょ！」

トオル「(苦笑して)ごめんね。どうしても来るっていうもんだから」

陽平「オレも招待されてないけど、あかりちゃんの同伴ってことで」

あかり「お誕生日おめでとうございます、美鈴さん」

美鈴「わざわざ来てくれてサンキュ」

あかり「あたしはすぐにおいとましますけど」

美鈴「あかりちゃんは`片町のシンデレラ、だもんね」

あかり、美鈴に挨拶すると、さりげなく店内のトイレに入っていく。

その姿を見守っているアヤカ。

アヤカのM「あかりさんはトイレの中でサトシさんに変身する予定なんです……だけど！」

トイレの前で陽平がウロチョロしている。

陽平「あかりちゃん、出て来るの遅いなあ……」

アヤカのM「やばっ！ ……もしもの時のプランB。みんな、ごめんね！」

店内の電源をオフにするアヤカ。

暗闇の店内。「キャー！」「なんだなんだ停電か！」などの声が交錯する。

しばし後、店内が明るくなると――美鈴の隣にサトシが立っている。

サトシ「美鈴さん、誕生日おめでとう！」

美鈴「サトシ君、来てくれたのね！ うれしい(とサトシに抱きつく)」

その光景をホッと胸をなで下ろして見ているアヤカ。

美鈴「(急に表情が強ばり)あかりちゃんの香水と同じ香り。サトシ君ってもしかして？」

アヤカのM「あかりさんの正体がついにバレちゃった!？」

サトシ「(平然と)あかりは僕の妹なんだよ。一緒に暮らしてるから、香水が移っちゃったのかな」

美鈴「(サトシを凝視して)……」

アヤカ「(そんな美鈴をハラハラしながら見つめて)……」

美鈴「(笑顔が弾け)やっぱり、そうだったのか！」

アヤカのM「こうして美鈴さんの誕生日は何事もなく終わったのでした……」

陽平「(店内をウロチョロして)あかりちゃん、どこ行ったの？」

## # 8 片町の夜景(数日後)

### # 9 「スナック香澄」店内

カウンター席に美鈴とあかりがいる。

美鈴「ねえねえ、お兄さんには彼女いるの？」

あかり「いないと思いますよ」

美鈴「そしたらあたし、彼女に立候補しちゃおうかな。あかりちゃんも応援してよ」

あかり「はい、いいですよ」

アヤカのM「(思わずツッコミ)よくないですって、あかりさん！」

#10 片町のメインストリート

仲良く並んで出勤していくドレス姿の美鈴とあかり。

アヤカのM「二人の関係はこれからどうなっていくのでしょうか？」